

ブラインドネス (2008)

BLINDNESS

メディア 映画
ジャンル サスペンス SF ドラマ
製作国 日本／ブラジル／カナダ
色彩 Color
時間 121分
初公開日 2008/11/22
公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ
映倫 PG-12

【キャッチコピー】
全世界、失明。

【解説】
「ナイロビの蜂」のフェルナンド・メイレレス監督が、ノーベル賞作家ジョゼ・サラマーゴの小説『白の闇』を国際色豊かなキャスト陣で描いたパニック・サスペンス。ある日突然失明する謎の病気が感染症のように世界中に蔓延していく中、隔離施設に閉じ込められた発症者たちが極限状況で露わにしていく様々な人間の本性を寓話的に描き出す。主演は「エデンより彼方に」のジュリアン・ムーア。日本からも「CASSHERN」の伊勢谷友介と「寝ずの番」の木村佳乃が参加。
ある日、車を運転していた日本人の男が突然視力を失い、目の前が真っ白になる事態に見舞われる。しかし、彼を診た医者によれば、眼球に異常はなく原因は不明だった。その後、同様の患者が各地で続出、混乱が広がっていく。感染症の疑いが濃厚となり、政府は緊急隔離政策を発動し、発症者を片っ端からかつて精神病院だった隔離病棟へと強制収容していく。最初の患者を診た医者もやはり失明し、隔離病棟送りとなるが、その際、医者の妻は自分も失明したフリをして夫に付き添うのだった。彼女だけは、なぜか失明を免れていたのだ。こうしてただ一人、目が見えていながら隔離病棟内に入り込んだ医者の妻は、やがて想像を絶する惨状を目の当たりにするのだが…。

【クレジット】		
監督	フェルナンド・メイレレス	Fernando Meirelles
製作	ニヴ・フィッチマン	Niv Fichman
	アルドレア・バラタ・ヒベイロ	Andrea Barata Ribeiro
	酒井園子	Sonoko Sakai
製作総指揮	ゲイル・イーガン	Gail Egan
	サイモン・チャニング・ウィリアムズ	Simon Channing Williams
原作	ジョゼ・サラマーゴ	Jose Saramago
脚本	ドン・マッケラー	Don McKellar
撮影	セザール・シャローン	Cesar Charlone
プロダクションデザイン	トゥレ・ペヤク	Tulé Peak
衣装デザイン	レネー・エイプリル	Renee April
編集	ダニエル・レゼンデ	

『白の闇』
(日本放送出版協会刊)

音楽 出演	マルコ・アントニオ・ギマランイス	Marco Antônio Guimarães	
	ジュリアン・ムーア	Julianne Moore	医者 の 妻
	マーク・ラファロ	Mark Ruffalo	医者
	アリシー・ブラガ	Alice Braga	サングラスの娘
	伊勢谷友介		最初に失明した男
	木村佳乃		最初に失明した男の妻
	ドン・マッケラー	Don McKellar	泥棒
	モーリー・チェイキン	Maury Chaykin	会計士
	ミッチェル・ナイ	Mitchell Nye	少年
	ダニー・グローヴァー	Danny Glover	黒い眼帯の老人
	ガエル・ガルシア・ベルナル	Gael Garcia Bernal	バーテンダー／第三病棟の王